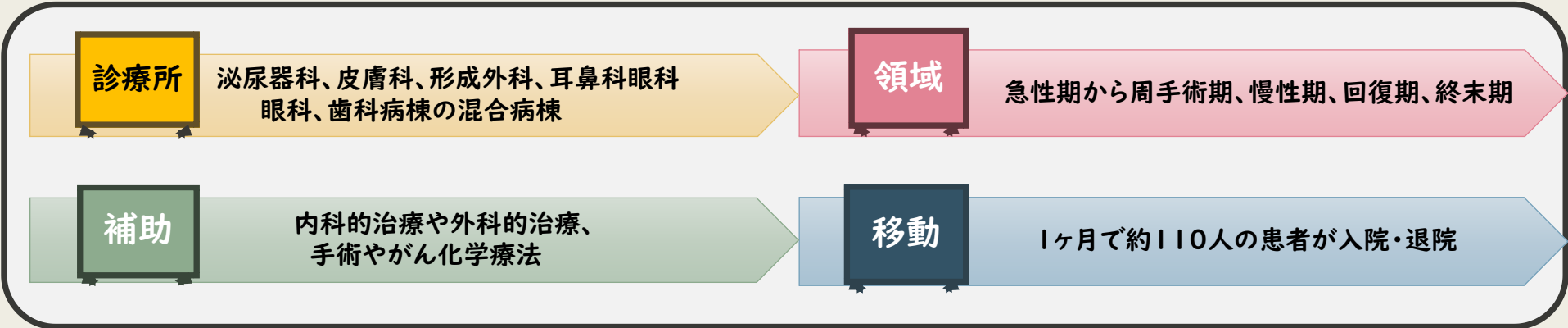


混合病棟で目指す看護 ～あなたが大切にしていること～

南2病棟

南2病棟は混合病棟



混合病棟
スタッフ
の声



専門性を追求した
看護がしたい



寄り添った看護がしたい



達成感がない

業務が複雑



責任感が薄い



看護部のクレド(行動指針)

事例紹介

A氏 85歳



病名:

左腎盂腎がん、LN転移、肝転移治療後免疫関連有害症状として**心不全で入院**

自覚症状:

労作時呼吸困難 全身浮腫

治療:

内服で利尿コントロール

既往:

DM(インスリン使用)、左足術後、慢性心房細動

入院前:

自宅で夫と2人暮らし 自立歩行

問題点

- ①患者と家族が退院場所の希望が違う
- ②ADL
- ③呼吸場所
- ④バルンの管理
- ⑤内服管理
- ⑥インスリンの管理
- ⑦創部皮膚炎
- ⑧家族の受け入れ準備が不十分
- ⑨食事内容

対策

- 外出
- リハビリ 離床の促し
- 循環器介入
- 患者へ指導 レッグバッグ購入
- 内服管理の練習 内服BOX導入 家族の介入の説明
- 自己練習
- 皮膚科介入 処置実施
- MSW介入 要介護申請 外出
- 栄養科指導



患者



外出・外泊後

患者



旦那と愛犬と
また生活したいです

家族と過ごせてよかった。愛犬にも 会えて嬉しかった。
動いたらやっぱり 息切れがあった。転院で大丈夫です。

二人暮らしの父は家に帰ってきて欲しいと言っているが**介護には協力的じゃない**。今の状態で家に帰って本当に大丈夫か。**介護度がわからない**。何かあったときすぐにはかけつけられない。転院を挟んで自宅退院して欲しい。

父も転院に理解を示しています。車の移乗時に段差が高く困難だった。移乗を繰り返すと息切れがみられた。更衣・排泄のケアが難しかった。転院を挟んで自宅退院したい。

家族



家族



早く自宅退院したい。

父は自宅に退院して欲しいと言うが転院を挟んで帰ってきて欲しい。転院は本人が納得しないから伝えなくて欲しい。



転院して万全の状態
で自宅に帰ります。

外泊ができて本人も父も私
たちもよかった。やっぱり
転院を挟んで帰ってきて
欲しい。

人生会議が安心して自分らしい生活支援に繋がる

まとめ

患者と家族の意思決定を支援し、目標達成までの過程を共に考える。

関わりの中で看護師自身が「どう感じて・どう考えた」を大切にする。

患者が満足できるケア、看護師が納得できるケアを大切にしていく。